安全にお使いいただくために

ご使用の前に

・ご使用の前にこの「安全にお使いいただくために」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
・お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

絵表示について

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

⚠ 警告

■表示された電源電圧以外の電圧で使用しない

表示された電源電圧（交流１００ボルト）以外の電圧で使用しないで下さい。
火災・感電の原因となります。

■異常なときは使わない

煙が出ている、変な臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに電源を切り、煙が出なくなることを確認してから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

■電源コードに傷をつけない

電源コードに傷をつけたり、加工したり、破損したりしないでください。また、重いものをのせたり、加熱したり、引っ張ったりするとコードが破損し、火災・感電の原因となります。

■電源コードが傷んだら交換する

電源コードの芯線が露出したり、断線したときは交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

■発火や引火の危険性がある場所に設置しない

ガスなどが充満した場所に設置すると、火災の原因となります。

■分解したり、異物を入れない

ケースを開けて内部に触れたり、金属類や燃えやすいものなどを入れないでください。火災・感電の原因となります。

■改造しない

この機器を改造しないでください。
火災・感電の原因となります。

⚠ 警告

■水にぬらさない

水にぬらすと火災・感電の原因となります。万一内部に水が入った場合はご使用を中止し、電源を切ってからお買い上げの販売店にご連絡ください。

■この機器を設置する場合は、間隔を設ける

放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して設置してください。ラックなどに入れるときは、すきまをあけてください。内部に熱がこもり火災の原因となります。

■ＡＣアウトレットの消費電力は指定された範囲を超えない

ＡＣアウトレットの装備された機器で、このコンセントに接続する装置の消費電力は指定された範囲を超えないようにしてください。火災の原因となります。

■水の入った容器を置かない

この機器の上に花瓶、植木鉢、化粧品、薬品、水などの入った容器（水槽やコップ）などを置かないでください。
こぼれたりして、内部に水などが入ったまま使用すると火災・感電の原因となります。

■不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。

■振動、衝撃のある場所では使用しない

落下してけがの原因となります。

■電源を入れたままコネクタや端子台にさわらない

機器にコネクタを接続するときや端子台に配線を行うときは必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
感電の原因となることがあります。

⚠ 注意

■湿気やほこりの多い場所に設置しない
火災・感電の原因となることがあります。

■油煙や湯気が当たる場所に設置しない
調理台や加湿器などのそばに設置しないでください。
火災・感電の原因となることがあります。

■接続コードを熱器具に近付けない
コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

■温度・湿度については、使用環境で定めてある範囲で使用する
この機器の設置環境は使用環境で定めてある範囲で使用してください。内部の温度・湿度が上がり、火災や故障の原因となることがあります。

■風通しの悪いところには置かない
風通しの悪いところに置いたり、通風孔をふさがないでください。
機器の通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。

■この機器の上にものを置かない
バランスがくずれたり、落下したりして、けがの原因となることがあります。

■振動や衝撃の加わるところには置かない
この機器に振動や衝撃が加わると、火災や故障の原因となることがあります。

■引火性ガス、腐食性ガスのあたるところには置かない
この機器の周囲に引火性ガスや腐食性ガスがあると、火災の原因となることがあります。

⚠ 注意

■アース端子は接地する

万一、漏電したときの感電防止のためです。
接地方法は機器の指定したアース方法で接地してください。

■長期間ご使用にならないときはプラグを抜く

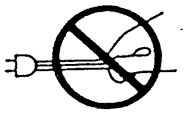
長期間ご使用にならないときは、安全のため電源コードのプラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。

■濡れた手でプラグを抜き差ししない

濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電の原因となることがあります。

■電源プラグを抜くときは必ずプラグを持つ

プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。
コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
必ずプラグを持って抜いてください。



■保守点検について

保守点検を販売店にご相談下さい。機器内部にほこりがたまったまま、長い間掃除しないと火災や故障の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。
なお、保守点検の費用については販売店にご相談ください。

■電源プラグの掃除

電源プラグを長期間差し込んだままにしておくと、差し込み部分にほこりがたまり、火災の原因となることがあります。
年に一度くらいはプラグを抜いて、ほこりを取ってください。

■お手入れするときは電源プラグを抜く

安全のため、必ず電源プラグをコンセントから抜いてお手入れしてください。

RC-332/322形　リモート操作器

取扱説明書

1．はじめに

日立ＲＣ－３３２形，ＲＣ－３２２形リモート操作器は，ＣＣＴＶカメラを離れた所からコントロールするための装置で，電動雲台，電動ズームレンズ，ＣＣＴＶカメラケース装着機器類等を有線によって遠隔制御します。

ＲＣ－３３２形はリモートアイリス式電動ズームレンズに使用できます。また，ＲＣ－３２２形はオートアイリス式（映像信号供給形）電動ズームレンズ専用器になっています。

2．制御可能機器　　第１表

リモート操作器	適合レンズの種類	適合雲台	適合カメラケース
ＲＣ－３２２	オートアイリス式電動ズームレンズ （映像信号供給形） ＥＥアンプ形式…外付式，内蔵式 ZOOM,FOCUS制御方式… コモン方式，デュアル方式 制御電圧…ＤＣ６Ｖ～１２Ｖ	ＲＭ－２１７ ＲＭ－１７ ＲＭ－３７	ＰＨ－１２１S/L ＰＨ－１９１ ＰＨ－６０２Ａ ＰＨ－６０５ ［カメラ本体 デフロスタ ヒータ ワイパ］
ＲＣ－３３２	リモートアイリス式電動ズームﾚﾝｽﾞ IRIS,FOCUS,ZOOM制御方式… コモン方式，デュアル方式 制御電圧…ＤＣ６Ｖ～１２Ｖ	ＲＭ－５７	

3．標準構成

（１）　本　　体　　1

（２）　ヒ　ュ　ー　ズ　　３Ａ　　1

（３）　取扱説明書　　1

1994-07-9494203~19 1/17 SI
RC-332/322

0000094942033

4．使用上のご注意

（１）内部に燃えやすいもの、金属など入れないで

燃えやすいものや、金属などが内部に入ると故障や事故の原因になります。

（２）内部には触れないで

感電や故障の原因になりますので、カバーをあけるなどして内部にふれることはさけてください。

（３）異常が発生したとき

使用中に突然映像がでなくなったなどの異常が発生した場合には、販売店または当社営業所へご連絡ください。

（４）高音・多湿に注意

高音・多湿での使用は故障や事故の原因になります。

（５）水やホコリは禁物

内部に水やホコリが入ると故障や事故の原因となります。万一、内部に水が入ったときは、すぐに差し込みプラグをコンセントから抜いて、販売店または当社営業所へご連絡ください。

（６）発火・引火性のあるところはさけて

ガスの充満している所や、近くに発火・引火性の器物のある所での使用は絶対にさけてください。

5．組合せ上のご注意

本器は市販の電動ズームレンズが広範囲に適合するよう設計されていますが，製品出荷時においては，その中の特定のレンズにそのまま使えるようにセットされています。従ってそれ以外のレンズと組み合わせる場合には，簡単な再調整が必要となりますので，第２表，第３表をご参照の上，再調整を行なってください。

但し，再調整不要となっているレンズでも，使用する線種や延長距離によっては，制御電圧を再調整する必要が生じる場合があります。

再調整の方法は８．２項を参照してください。

6．接続方法

６．１　本器と電動ズームレンズの接続

本器と電動ズームレンズとの接続は，使用するレンズの形式により，第２表の中から接続図記号（Ａ－Ｉ）を選択し，それに該当する接続図を第１図，第２図の中から選んでください。

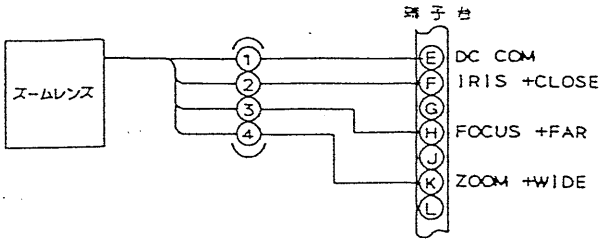
また，レンズは形名が１字でも違うと種類が全く異る物がありますので，表中にない旧形や新形はたとえ形名が似ていても同種類のものと判断せずに，レンズの仕様書や取扱説明書等でよく確認してください。

1994-07-9494203~19 2/17 SI
RC-332/322

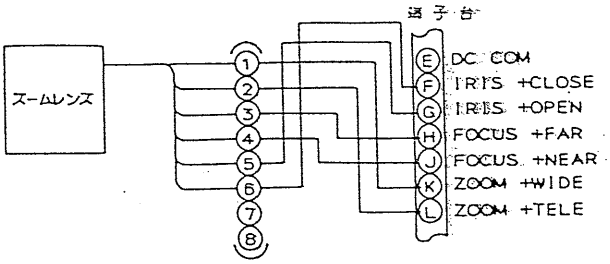
0000094942033

第１図　リモートアイリス式電動ズームレンズとRC-332形の接続

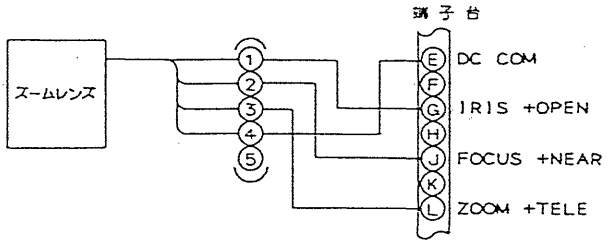
タイプA



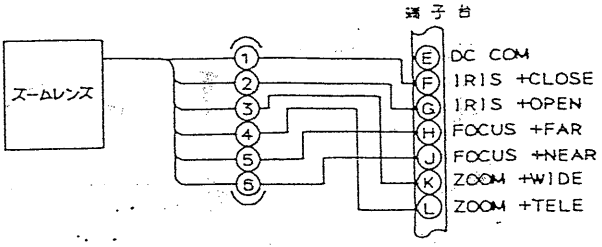
タイプC



タイプB



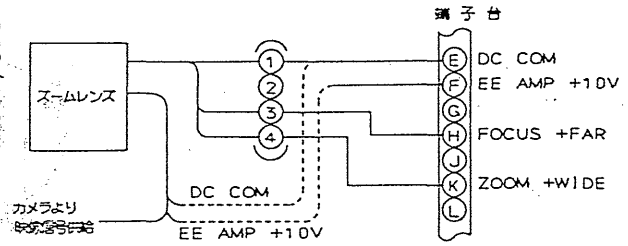
タイプD



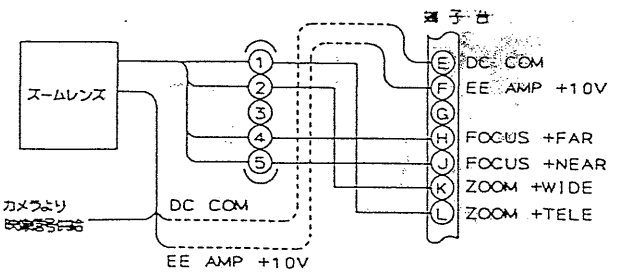
第２図　オートアイリス式電動ズームレンズとRC-322形の接続（映像信号供給形）

ＥＥアンプ内蔵形

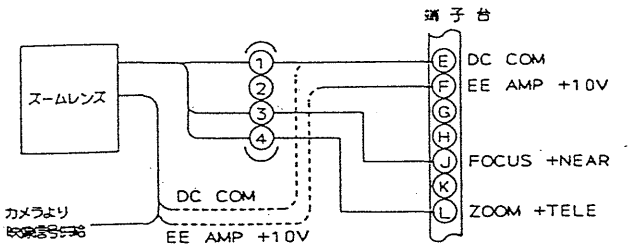
タイプE



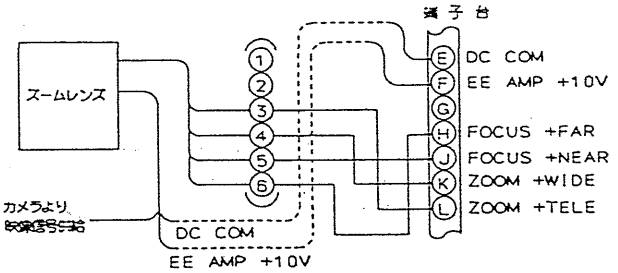
タイプG



タイプF

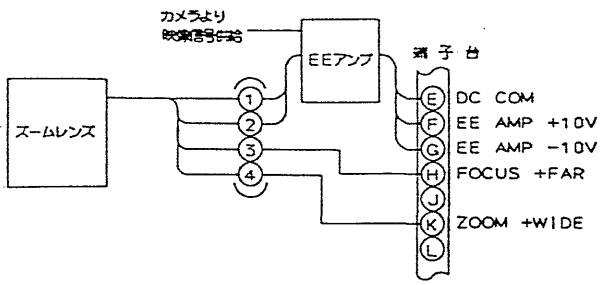


タイプH



ＥＥアンプ外付形

タイプI



1994-07-9494203~19 3/17 SI
RC-332/322

0000094942033

第２表　市販電動ズームレンズ一覧表（1994年3月現在）
リモートアイリス方式（RC-332形）

製造メーカー	サイズ	形　　式	制御電圧	制御方式	再調整	接続図	
キャノン	1/2″	PH6×8R－II PH10×8R－II	±6.4V	COM	不　要	A	
	2/3″	J6×11R－II J10×10R－II J16×9.5R	±6.4V	COM	不　要	A	
	1″	V10×16R V10×15R　IE	±6.4V	COM	不　要	A	
コズミカ	2/3″	C6Z1218M3－3	±６V	COM	不　要	A	
		C6Z1218M3－2	±12V	COM	V	B	逆極性
		C6Z1218M3－1	6 V	DUAL	S	C	逆極性
フジノン	1/2″	D6×8.5C－MDM71 D10×8A－MDM71 D12×7.5A－MDM71 D14×7.3A－MDM71	±６V	COM	不　要	A	
		D6×8.5C－MDM31 D10×8A－MDM31 D12×7.5A－MDM31 D14×7.3A－MDM31	±12V	COM	V	A	
		D6×8.5C－MDM21 D10×8A－MDM21 D12×7.5A－MDM21 D14×7.3A－MDM21	12V	DUAL	S･V	D	
	2/3″	H6×11.5B－MDM71 H10×11E－MDM71 H12×10.5A－MDM71 H14×10A－MDM71	±６V	COM	不　要	A	
		H6×11.5B－MDM31 H10×11E－MDM31 H12×10.5A－MDM31 H14×10A－MDM31	±12V	COM	V	A	
		H6×11.5B－MDM21 H10×11E－MDM21 H12×10.5A－MDM21 H14×10A－MDM21	12V	DUAL	S･V	D	
	1″	C6×17A－MDM31 C10×16A－MDM31 C14×25B－MDM31	±12V	COM	V	A	
		C6×17A－MDM21 C10×16A－MDM21 C14×25B－MDM21	12V	DUAL	S･V	D	

オートアイリス方式（映像信号供給形）（RC-322形）

製造メーカー	サイズ	形　　式	EEアンプ	制御電圧	制御方式	再調整	接続図
キャノン EEアンプ 外付け式	2/3″	J6×11REA－II J10×10REA－II	DC±7 ～10V	±6.4V	COM	不　要	I
	1″	V10×16REA V10×15REA　IE	DC±7 ～10V	±6.4V	COM	不　要	I
キャノン EEアンプ 内蔵形	1/2″	PH6×8REA－IA－II PH10×8REA－IA－II	DC±8.5V ～16V	±6.4V	COM	不　要	E
	2/3″	J6×11REA－IA－II J10×10REA－IA－II J16×9.5REA－IA	DC±8.5 ～16V	±6.4V	COM	不　要	E
	1″	V10×16REA－IA	DC±8.5~13V	±6.4V	COM	不　要	E

1994-07-9494203~19 4/17 SI
RC-332/322

0000094942033

オートアイリス方式（映像信号供給形）（RC-322形）

製造メーカー	サイズ	形　　式	EEアンプ	制御電圧	制御方式	再調整	接続図
コズミカ EEアンプ内蔵形	1/2″	HS6ZME−3 HS10ZME−3 H6ZBME−3 H10ZM3−3	DC+8 ～12V	±6V	COM	不要	E
		HS6ZME−2 HS10ZME−2 H6ZBME−2 H10ZME−2	DC+8 ～12V	±12V 逆極性	COM	V	F
		HS6ZME−1 HS10ZME−1 H6ZBME−1 H10ZME−1	DC+8 ～12V	6V 逆極性	DUAL	S	G
	2/3″	C6ZME−3 C10ZAME−3 C14ZME−3	DC+8～16V DC+8～12V DC+8～16V	±6V	COM	不要	E
		C6ZME−2 C10ZAME−2 C14ZME−2V	DC+8～16V DC+8～12V DC+8～16V	±12V 逆極性	COM	V	F
		C6ZME−1 C10ZAME−1 C14ZME−1	DC+8～16V DC+8～12V DC+8～16V	6V 逆極性	DUAL	S	G
	1″	B6Z1518M2EMA−3 B12ZCME−3	DC+8～16V DC+8～12V	±6V	COM	不要	E
		B6Z1518M2EMA−2 B12ZCME−2	DC+8～16V DC+8～12V	±12V 逆極性	COM	V	F
		B6Z1518M2EMA−1 B12ZCME−1	DC+8～16V DC+8～12V	6V 逆極性	DUAL	S	G
フジノン EEアンプ内蔵形	1/2″	D6×8.5E−SNDS71 D10×8B−SNDS71 D12×7.5B−SNDS71 D14×7.3B−SNDS71	DC+9 ～16V	±6V	COM	不要	E
		D6×8.5E−SNDS31 D10×8B−SNDS31 D12×7.5B−SNDS31 D14×7.3B−SNDS31	DC+9 ～16V	±12V	COM	V	E
		D6×8.5E−SNDS21 D10×8B−SNDS21 D12×7.5B−SNDS21 D14×7.3B−SNDS21	DC+9 ～16V	12V	DUAL	S・V	H
	2/3″	H6×11.5C−SNDS71 H10×11F−SNDS71 H12×10.5B−SNDS71 H14×10B−SNDS71	DC+9 ～16V	±6V	COM	不要	E
		H6×11.5C−SNDS31 H10×11F−SNDS31 H12×10.5B−SNDS31 H14×10B−SNDS31	DC+9 ～16V	±12V	COM	V	E
		H6×11.5C−SNDS21 H10×11F−SNDS21 H12×10.5B−SNDS21 H14×10B−SNDS21	DC+9 ～16V	12V	DUAL	S・V	H
	1″	C6×17B−MSM31 C10×16A−MDM31 C14×25B−MDM31	DC+9～16V DC+11～16V DC+11～16V	±12V	COM	V	E
		C6×17B−MDM21 C10×16A−MDM21 C14×25B−MDM21	DC+9～16V DC+11～16V DC+11～16V	12V	DUAL	S・V	H

※　制御方式　COM･･･コモン方式
　　DUAL･･デュアル方式
※　再調整　　V････電圧調整
　　S････ショートバー差し替え

1994-07-949203-19 5/17 SI
RC-332/322

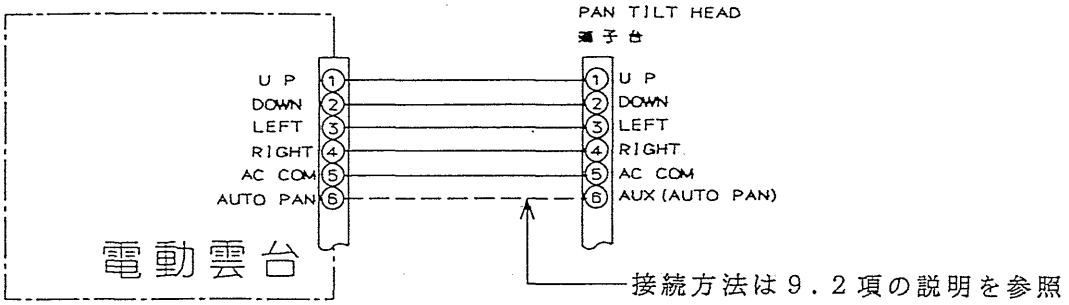
0000094942033

６．２　他機との接続

本器と電動雲台の接続

電動雲台との接続は，本器のPAN/TILT端子台と電動雲台の間を第３図のように接続してください。

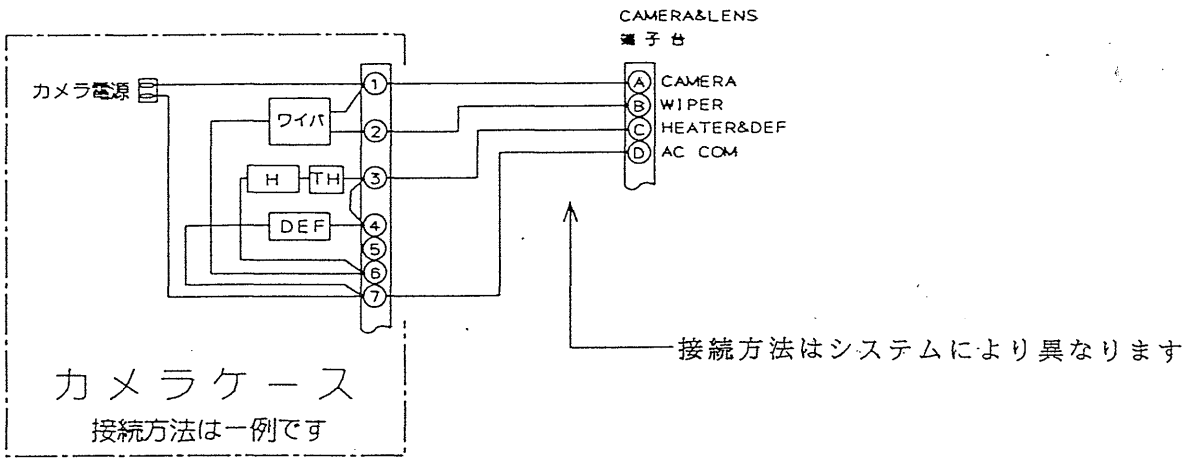
但し，電動雲台の種類によりピンの配列が違いますので，電動雲台の説明書をよく見て間違いのないように接続してください。



第３図　本器と電動雲台の接続

６．３　本器とカメラ部の接続

カメラ部との接続は，第４図の一例を参考に接続してください。



第４図　本器とカメラ部の接続

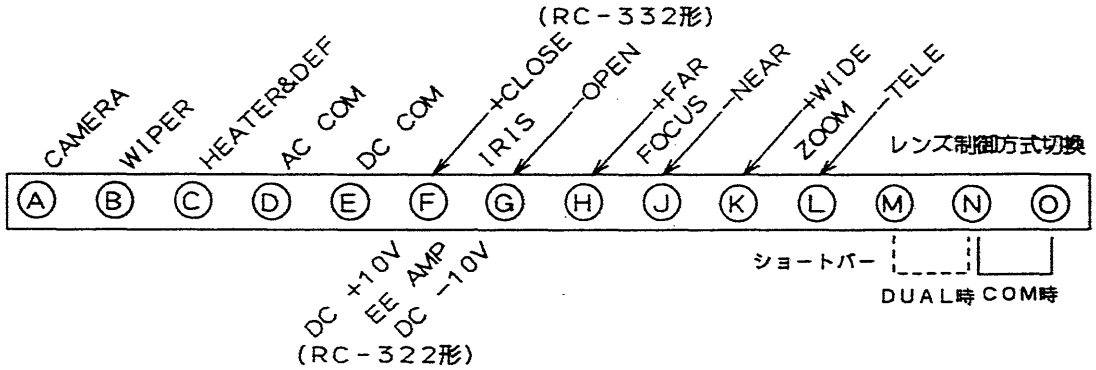
1994-07-9494203-19 6/17 SI
RC-332/322

7．背面端子台

7．1　端子台の内部接続

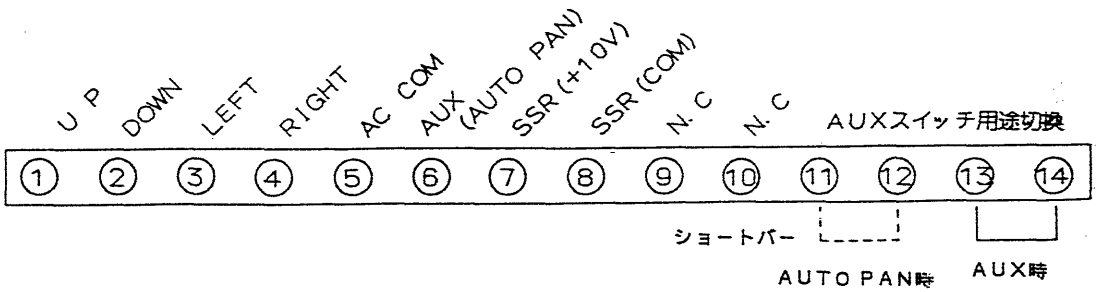
本器の端子台の内部は第５．１図，第５．２図のような接続になっています。

カメラ･レンズ制御出力端子台(RC-332形とRC-322形はＦ，Ｇの制御内容がかわります)



第５．１図

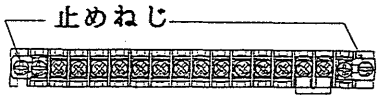
電動雲台制御出力端子台(RC-332形，RC-322形共同一内容です)



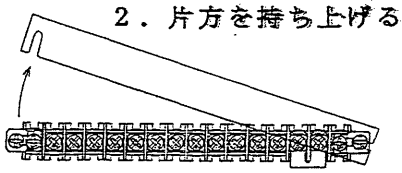
第５．２図

7．2　アクリルカバーの外し方

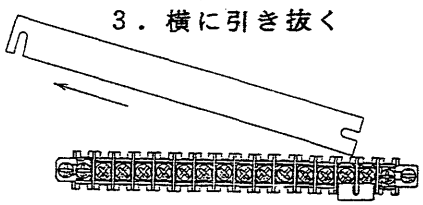
１．止めねじをゆるめる



２．片方を持ち上げる



３．横に引き抜く

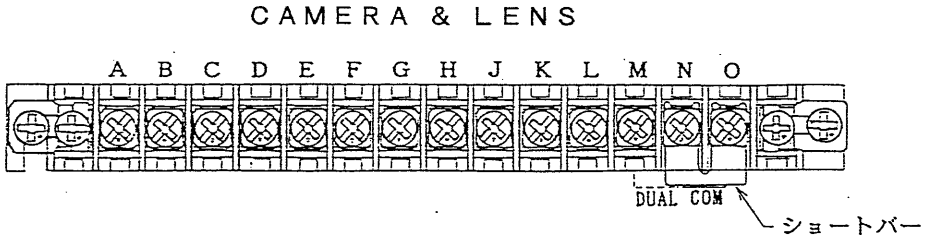


1994-07-9494203-19 7/17 SI
RC-332/322

0000094942033

８．再調整の方法

本器はコモン方式ＤＣ６Ｖ(ＤＣ６．４Ｖ)制御のズームレンズに適合するようセットして出荷されていますのでそれ以外のレンズ（制御方式がデュアル方式の場合，および制御電圧が異るレンズの場合）ではそれに応じた再調整が必要です。



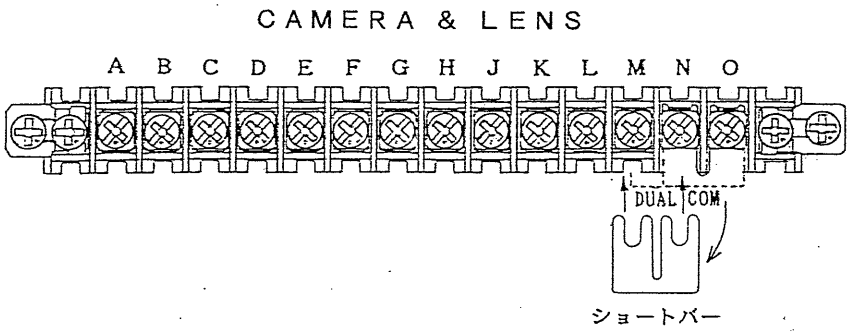
第６．１図　標準状態ショートバーの位置

８．１　デュアル方式への切換

デュアル方式とは，レンズの各制御項目にそれぞれ個別に２本の線を使用し，コモン線は使用せず，２本の線に供給する制御電圧の極性を切り換えて操作する方式です。

この種のレンズは制御項目１つに対して２本の線がレンズから出ていますのでリモートアイリス式では６本，オートアイリス式ではＥＥアンプの線を別にして４本がレンズから出ています。

このレンズの場合，マイナス電源は使いませんので，本器背面のＬＥＮＳ端子のＮ－Ｏの間（COMと書いてある）をつないであるショートバーを取りはずし，Ｍ－Ｎ間(DUALと書いてある）に入れ換えてください。（第６．２図）これによってそれぞれの操作項目が単独に２本の線で接続できます。



第６．２図　コモン方式からデュアル方式への切り換え

○ご注意

本器をコモン方式のセット状態のまま（端子のショートバーをＮ－Ｏ間ショートのまま）デュアル方式の接続をしてしまいますと，レンズに規定の２倍の電圧がかかる場合がありますので，十分ご注意ください。

また，端子台への接続線やショートバーのさし替えなどは必ずパワースイッチを切ってから行なってください。

1994-07-9494203~19 8/17 SI
RC-332/322

８．２　制御電圧の再調整

本器は出荷時にレンズの制御電圧をコモン方式のＣＤ＋６Ｖ，－６Ｖにセットしてあります。

従って第２表の中の再調整不要となっているレンズ以外は，制御電圧の再調整が必要となります。（６．４Ｖのレンズは再調整不要と見なしています）

また，再調整不要のレンズでも，制御ケーブルの種類や，延長距離によっては，電圧降下のため制御電圧が不足する場合もあります。（この場合はレンズが動かなかったり，動作が遅くなったりします）このような時にはやはり制御電圧の再調整が必要となります。

制御電圧は次の方法で再調整してください。

８．２．１　＋側電圧の再調整

（１）本器を動作状態にしてテスター（または直流電圧計DC15V～50V レンジ）を用意し，マイナスリードをＬＥＮＳ端子台のＥ端子（ＣＯＭ）に，プラスリードをＪ端子にあてます。

（２）本器のＮＥＡＲボタンを押すと電圧計が振れますので，そのまま本器低面にある＋電圧調整箇所をドライバーで廻し，希望の電圧に合せます。

８．２．２　－側電圧の再調整

（１）テスターのプラスリードをＥ端子に，マイナスリードをＪ端子にあてます。

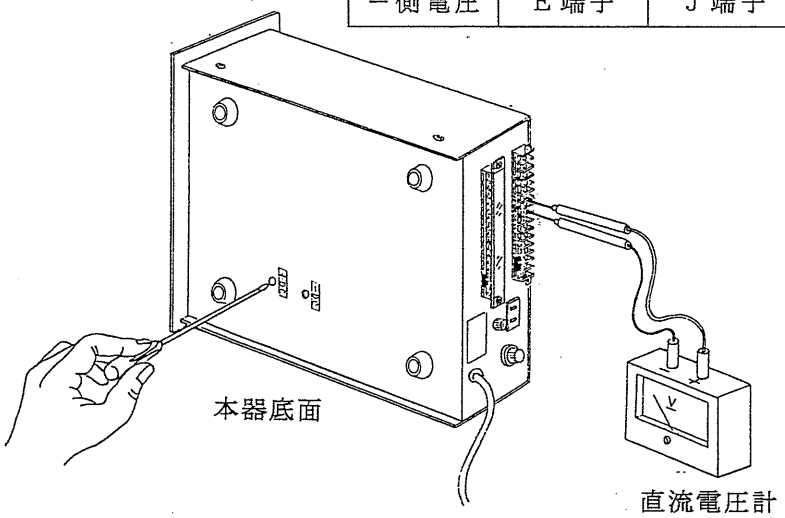
（２）本器のＦＡＲボタンを押すと電圧計が振れますので，そのまま本器低面の－電圧調整箇所を廻して合せます。

なお，デュアル方式で使用する場合は，－電圧は使用しませんので，調整は＋側電圧のみで結構です。

また，先端（レンズ側）での電圧降下分だけ補うには，操作ボタンを押した時先端で電圧を計りながら，その不足分だけ電圧を上げてください。

第３表　電圧調整手順早見表

調整目的	電圧計＋	電圧計－	ボタン操作	調整箇所
＋側電圧	Ｊ端子	Ｅ端子	ＮＥＡＲ	＋電圧調整
－側電圧	Ｅ端子	Ｊ端子	ＦＡＲ	－電圧調整



第７図

1994-07-9494203~19 9/17 SI
RC-332/322

９．スイッチの用途

９．１　ＡＵＸスイッチの用途

ＡＵＸスイッチはＣＣＴＶカメラ，電動雲台以外の機器をＯＮ－ＯＦＦする場合に使用します。

ＡＵＸスイッチをＯＮにしますと，ＰＡＮ／ＴＩＬＴ端子台の５－６間にＡＣ１００Ｖが出力されます。

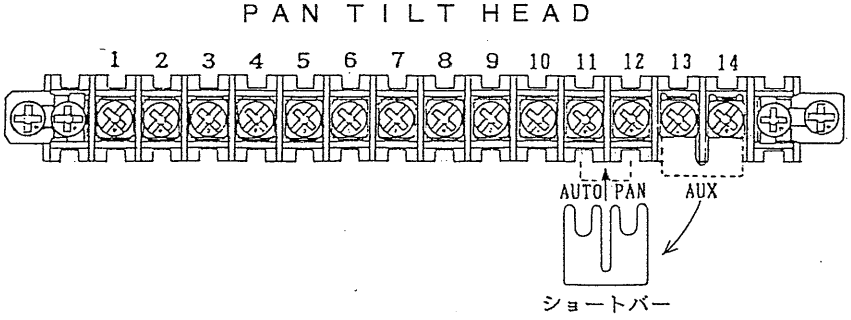
但し，本器のＡＵＸスイッチで直接ＯＮ－ＯＦＦできるのはＡＣ１００Ｖ１Ａが限度です。もしそれ以上の電源をＯＮ－ＯＦＦする場合は，ＡＣ１００Ｖのリレーを使用するか，またはＰＡＮ／ＴＩＬＴ端子台の７－８間に出ているＳＳＲ制御用のＤＣ電圧（７…＋，８…－）でＳＳＲを制御してください。ＳＳＲ制御出力は同じＡＵＸスイッチでＯＮ－ＯＦＦできます。（ＡＣ１００ＶとＳＳＲの同時使用は可能です）

またＡＵＸスイッチはオートパン機能付電動雲台のオートパンＯＮ－ＯＦＦの切換にも使用できます。

オートパンのＯＮ－ＯＦＦをするには，下記９．２の方法によって使用してください。

９．２　オートパンのＯＮ－ＯＦＦ

ＰＡＮ／ＴＩＬＴ端子の６番端子（ＡＵＸ or ＡＵＴＯ ＰＡＮ）からオートパン回路のＯＮ－ＯＦＦ用の線を出して電動雲台へ接続し，１３－１４間に接続してあるショートバーを１１－１２間へ移動してください。（ＡＵＸスイッチをオートパンのＯＮ－ＯＦＦに使用した場合はＡＵＸ機器のＯＮ－ＯＦＦと併用はできません。）（第３図，第８図参照）



第８図　オートパン方式への切換

９．３　ワイパースイッチの用途

屋外用カメラケースのワイパーをＯＮ－ＯＦＦするために使用するのが本来の用途ですが，このスイッチはＡＣ１００ＶのＯＮ－ＯＦＦなので，他の機器のＯＮ－ＯＦＦにもそのまま使用できます。

このスイッチでＯＮ－ＯＦＦしたＡＣ１００ＶはＣＡＭＥＲＡ ＆ ＬＥＮＳ端子台のＢ－Ｄ（ＣＯＭ）間に出て来ます。但し，ＡＵＸスイッチのようにオートパンのＯＮ－ＯＦＦやＳＳＲの制御はできません。また１Ａ以上の機器をＯＮ－ＯＦＦする場合は，リレーを使用して制御してください。

1994-07-9494203-19 10/17 SI
RC-332/322
0000094942033

10．取扱上のご注意

（１）オートパン式電動雲台（例，RM-17）を使用の時，マニュアル操作で一番左側まで雲台を廻しきったところで，更にボタンをそのまま押し続けていると，やがて右方向にターンし始めます。これは故障ではなく，指を離せば元の状態に復帰します。

（２）ＲＣ－３２２形のEEアンプ用電源は＋１０Ｖ，ＣＯＭ，－１０Ｖの固定式です。

（３）ＲＣ－３２２形は，「ＯＰＥＮ」「ＣＬＯＳＥ」のボタンはありません。

（４）本器のＡＵＸスイッチおよびＷＩＰＥＲスイッチの表示文字を他の表示文字に変更したい場合は，当社にご相談ください。

（５）本器のパワースイッチをＯＮにしたまま，端子台のカバーをはずしたり，端子やショートバーに手を触れないよう御注意ください。

11．制御ケーブルについて

制御ケーブルは電圧降下を考慮して，延長距離に応じた太さのＣＶＶまたはＶＣＴ等の複合ケーブルを使用してください。

制御ケーブルの太さと距離の目安

制御電源容量はＡＣ１００Ｖ１Ａとする。

使用する機器の電圧降下の許容度を５％とする。

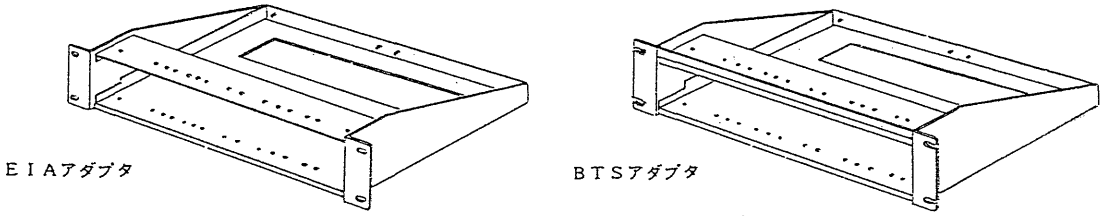
ケーブルの太さ	０．５	１．２５	１．６	２．０
制　御　距　離	５０ｍ	２００ｍ	３００ｍ	５００ｍ

1994-07-9494203-19 11/17 SI
RC-332/322

0000094942033

12．ラックへの装着(オプション)

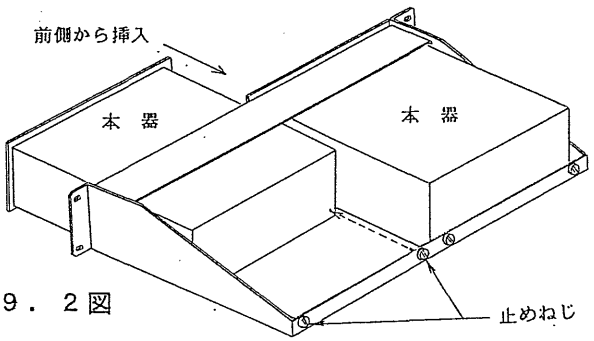
（１）本器をラックに装着する場合，ＥＩＡタイプとＢＴＳタイプにはそれぞれ専用のラック用アダプタが用意されています。（第９．１図）



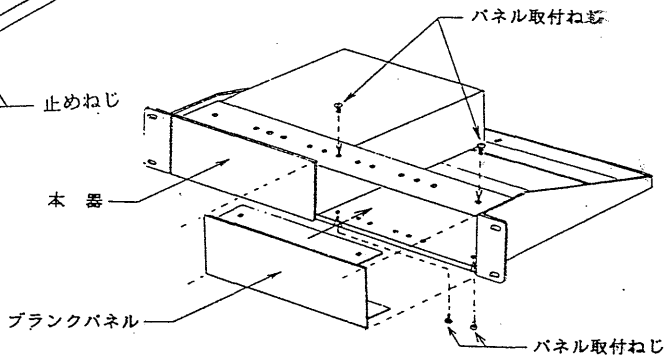
第９．１図

（２）本器をこれらのアダプタに入れる場合はゴム足をはずし，(第９．２図）を参照しアダプタの前側より挿入した後，うしろ側の止めねじをしめて固定してください。

（３）本器はこれらのラックには丁度２台並べて入る寸法になっていますが，１台の場合はブランクパネル(オプション）を使用して（第９．３図）のように不要な部分をふさいでください。

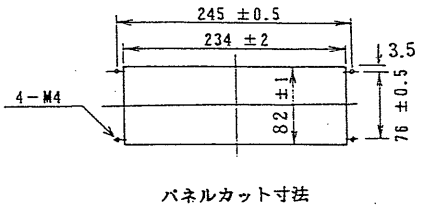


第９．２図



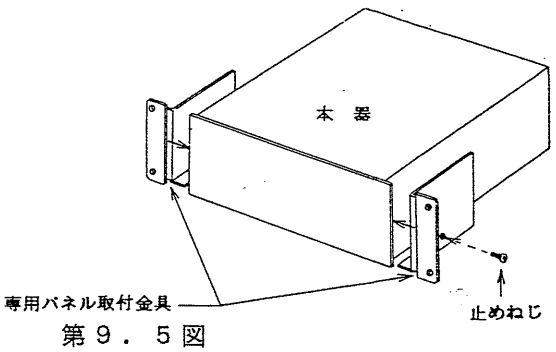
第９．３図

（４）上記のラック以外の特別なパネルに本器を組込む場合には，第９．４図のパネルカット寸法により穴を開け，専用の取付金具（オプション）を本器の左右にねじ止め（カバーのねじと共じめ）して，パネルに取付けてください。



パネルカット寸法

第９．４図



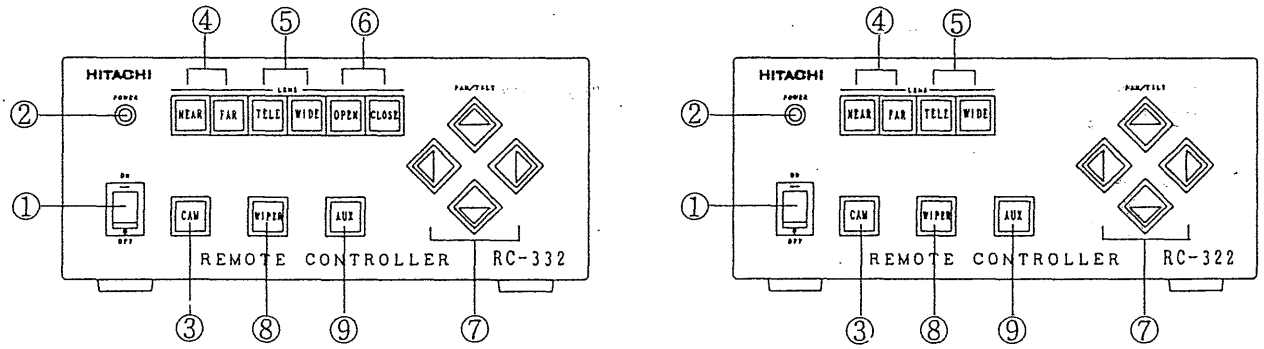
第９．５図

1994-07-9494203-19 12/17 SI
RC-332/322

0000094942033

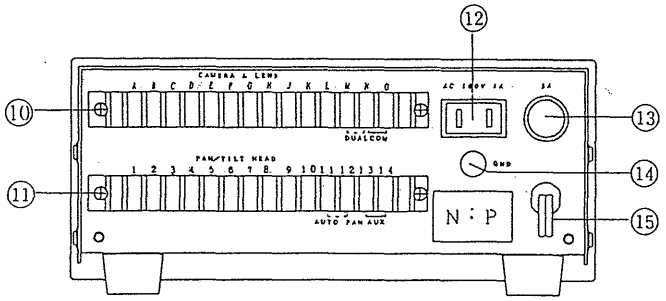
12．操作のしかた

第10図を参照しながらお読みください。



ＲＣ－３３２形　　ＲＣ－３２２形

第10．１図　前面操作部



第10．２図　背面接続部(RC-332形,RC-322形共同じです)

① ＰＯＷＥＲ「パワースイッチ」

本器のメインスイッチです。これをＯＮにすることにより②のパイロットランプが点灯し，カメラケース内にヒータ，デフロスタがある場合は，これらに電源が供給されます。

カメラケース内にサーモスタットが装備されているものは，このスイッチを入れておけばヒータは周囲の温度によって自動的にＯＮ－ＯＦＦされます。

② パイロットランプ

本器およびカメラケース内のヒータ，デフロスタの回線にＡＣ１００Ｖが供給されていることを示しています。

③ ＣＡＭ「カメラスイッチ」

このスイッチをいれることにより，カメラに電源が供給され映像がうつります。

また，同時に本器の各操作ボタン④～⑨は，すべて操作が可能になります。

（①のパワースイッチがＯＮになっていないと，③のカメラスイッチは入りません）

④ ＦＯＣＵＳ「フォーカス操作ボタン」

電動ズームレンズのフォーカス（焦点）をコントロールするボタンで，「ＮＥＡＲ」を押すと近景に，「ＦＡＲ」を押すと遠景に焦点をむすびます。

1994-07-9494203-19 13/17 SI
RC-332/322

0000094942033

⑤　ＺＯＯＭ「ズーム操作ボタン」

電動ズームレンズのズーミングをするボタンで「ＴＥＬＥ」を押すと望遠に，「ＷＩＤＥ」を押すと広角になります。

⑥　ＩＲＩＳ「アイリス操作ボタン」(RC-332形のみ)

電動ズームレンズのアイリス（絞り）をコントロールするボタンで「ＣＬＯＳＥ」を押すと絞りが閉じて暗く，「ＯＰＥＮ」を押すと絞りが開かれて明るくなります。

⑦　ＰＡＮ／ＴＩＬＴ「雲台操作ボタン」

電動雲台を上下左右に首を振るためのボタンで，「△」「▽」など矢印の方向に動きます。

⑧　ＷＩＰＥＲ「ワイパースイッチ」

屋外用カメラケースのワイパを動かすスイッチで，カメラケースのガラス窓が水滴などで見づらくなった場合に使用します。

なお，ワイパは長時間動かす必要はほとんどありませんから，水滴がなくなったらすぐスイッチを切ってください。（もう一度押せば切れます。）

また，ワイパースイッチは別の目的（他の機器のＯＮ－ＯＦＦ）にも利用することができます。（項目９．３をご参照ください）

⑨　ＡＵＸ「予備スイッチ」

カメラの周囲に他のアクセサリ機器を装備した場合に，このスイッチで電源をＯＮ－ＯＦＦしてください。

また，オートパンニングの機能が付いた電動雲台では，このスイッチをオートパンのＯＮ－ＯＦＦに使うこともできます。

（項目９．２オートパンのＯＮ－ＯＦＦをご参照ください）

⑩　ＣＡＭＥＲＡ　＆　ＬＥＮＳ「カメラ・レンズ制御出力端子台」

カメラや電動ズームレンズと接続するための端子台です。

ＣＣＴＶカメラやカメラケース内装着機器類（ワイパー，ヒーター，デフロスタ）の電源が出力され，また電動ズームレンズのＩＲＩＳ，ＺＯＯＭ，ＦＯＣＵＳそれぞれの制御電圧（操作ボタンを押した時），EEアンプ用のＤＣ電圧＋１０Ｖ，－１０Ｖの出力などが出力されます。５．１図参照

⑪　ＰＡＮ／ＴＩＬＴ　＆　ＣＡＭＥＲＡ「電動雲台（CCTVカメラ）制御出力端子台」

電動雲台制御用電圧（操作ボタンを押した時）や，ＳＳＲ制御用のＤＣ１０Ｖなどが出力されます。

⑫　ＡＣ１００Ｖ「ＡＣアウトレットコンセント」

ＡＣ１００Ｖが出力されます。カメラスイッチと連動しています。

但し，ここから取れる電流容量はＡＣ１００Ｖ１Ａが限度です。

⑬　ヒューズホルダ「３Ａ」

本器と他の接続機器を含む電流が流れます。

もし，断線した場合は本器だけでなく，接続されている他の機器も点検してください。

1994-07-9494203~19 14/17 SI
RC-332/322

0 0000094 942033

⑭　ＧＮＤ「アース端子」

本器のきょう体部をアースするための端子です。

レンズ制御電源のＣＯＭ端子と同電位になっています。

動作機能には影響ありませんが，安全上，他の機器のアースと共に接地またはラックのきょう体などに接続してください。

⑮　ＡＣプラグ

ＡＣコンセントに接続してください。本器はＡＣ１００Ｖの商用電源で使用します。

13．電源をＯＦＦにする場合

①のパワースイッチをＯＦＦにすれば他のスイッチはＯＮになっていても，すべての電源が切れます。

但し、寒冷地などで使用の時、ヒータやデフロスタまで切ってしまうと支障のある場合は使用後に電源を切る時、③のカメラスイッチだけ切っておくと、他の電源すべては切れてヒータとデフロスタだけに電源が供給されています。

なお、本器を接続したままカメラケース内を保守する場合には、①のパワースイッチは必ずＯＦＦにしてください。

1994-07-9494203-19 15/17 SI
RC-332/322

0000094942033

14. 仕　様

14.1 制御項目

（１）主　電　源「POWER」	本器の主電源のＯＮ－ＯＦＦ (ヒータ，デフロスタの電源も本スイッチでＯＮ－ＯＦＦされます)
（２）カメラ電源「CAM」	カメラ電源，ＡＣコンセント(ＡＣ100Ｖ)， ＥＥアンプ用電源(ＤＣ10Ｖ)のＯＮ－ＯＦＦ (RC-322形のみ)
（３）ワ　イ　パ「WIPER」	ワイパのＯＮ－ＯＦＦ(ＡＣ100Ｖ)
（４）予　　備「AUX」	外部機器（AC100Ｖ　１Ａ以下）のＯＮ－ＯＦＦ ＳＳＲ制御用電圧(ＤＣ10Ｖ)のＯＮ－ＯＦＦ
（５）オートパン「AUX」	オートパン付電動雲台のオートＯＮ－ＯＦＦ (注)（４）と（５）はどちらか一方を選択

14.1.2 レンズ制御

（１）ズ　ー　ム「ZOOM」	「ＴＥＬＥ」－ 望遠 「ＷＩＤＥ」－ 広角
（２）焦　　点「FOCUS」	「ＮＥＡＲ」－ 近 「Ｆ　Ａ　Ｒ」－ 遠
（３）絞　　り「IRIS」 （ＲＣ－３３２形のみ）	「ＯＰＥＮ」－ 開 「ＣＬＯＳＥ」－ 閉

14.1.3 雲台制御

（１）水　　平「PAN」	「▷」－右 「◁」－左
（２）垂　　直「TILT」	「△」－上 「▽」－下

14.2 制御電源出力

（１）レンズ制御　　ＤＣ約±５.５Ｖ～１４.５Ｖ(可変)
（２）ＥＥアンプ用　　ＤＣ±１０Ｖ(固定)（誤差５％以内)（ＲＣ－３２２形のみ）
（３）ＳＳＲ制御用　　ＤＣ１０Ｖ(固定)（誤差５％以内)
（４）カメラ，雲台，ワイパ，ＡＵＸ制御 ＨＥＡＴＥＲ&ＤＥＦ ＡＣ100Ｖ １Ａ以下
（各項目別）

14.3 操作方式

（１）主　電　源　　波形スイッチ（シーソー）
（２）そ　の　他　　押しボタンスイッチ

1994-07-9494203-19 16/17 SI
RC-332/322

0000094942033

14.4	電源入力	ＡＣ１００Ｖ　５０／６０Ｈｚ
14.5	消費電力	約１．５Ｗ（本体のみ） 〔注　接続機器により変る〕
14.6	外形寸法	８８(H)×２１０(W)×２５０(D)mm （ゴム足，突起部は除く）
14.7	質　　量	約３．５ｋｇ

15. オプション

（１）ＥＩＡアダプタ	１１項参照
（２）ＢＴＳアダプタ	〃
（３）同上用各種ブランクパネル	〃
（４）専用パネル取付金具	〃

1994-07-9494203~19 17/17 SI
RC-332/322